

保育の理念・実践を伝え合い、分かち合い、共有する。
「みんなでみんなをみていく」法人内会報。



2021.12

編集・発行/本部 広報・企画・編集室 中村聖子

『何を師走か？』

片山 喜章

年の瀬がやってくると、何だかそわそわしてしまいます。そんななか理事長と共に行脚した全園訪問と面談が終わりました。とても有意義でした。特に管理職+基本ミドル3名という方式はグッドでした。どの園もそれぞれに問題や課題、困難を抱えていますが、それはある意味、正常です。「問題や課題の存在は悪ではない」ということだけは分かち合いたいですね。

ただ管理職の「状況認識」と第一線で保育する現場が感じる「問題認識」にギャップがあるなら、それこそが「管理職のマネジメント力の弱さ」であり、園風土の問題であると私は考えます。例えば“サービス残業が多い。休憩時間が取れない”という状況があるならば、その園の職員集団の共有物として問題化され、それを解消するために管理職を先頭に各人が妙案を出せる風土が望まれます。あなたの園は、あなた自身はどうですか。

師走も半ば、しばし立ち止まってあれこれ思いをめぐらしてはどうでしょう。

@_tanenokai_

@tanenokai

Tanenokai Topics

ひとりひとりが 社会福祉 HERO'S

社会福祉のスピーチコンテスト。池田すみれこども園の谷口先生、だいな幼稚園の松村先生がエントリー。

実践発表

- 11/20 ソニー教育財団「科学する心」
アルテ子どもと木幼保育園 山田園長がオンライン発表。
『遊びの楽しみを広げる - プロジェクターとライトテーブルの活用事例 -』
- 12/9 宮前区公開保育プレゼンテーション
みやざき保育園 佐藤園長・伊藤主任が発表。
『オリンピックから始まった
子どもの「やりたい」が発揮される保育』

みやざき保育園お楽しみ会

子どもたちがつくる一大プロジェクト。動物園や宝探しなど、今年もおもしろいアイディアが満載！



アート展

アルテ子どもと木幼保育園で開催。一般公開もされ、地域や有識者の方々から来園されました。HPで当日の様子を公開中です！



おたのしみこどもライブ

だいな幼稚園職員と保護者を含むユニット“たかさんとゆかいななかまたち”が、姉妹園に進出！はっとこども園(11/18)、原田児童館(12/8)で開催され盛り上がりました。



hattonarra

12/11 世田谷はっと保育園で開催。HPで動画を配信中！



introduction

池田すみれ こども園

1つずつ、施設をピックアップして紹介していきます。
今回は、大阪府寝屋川市の「池田すみれこども園」です。
異年齢児や保育者、近隣住民、地域の親子と一緒に育つ池田すみれこども園での子どもたち。法人イチの規模で、地域に根ざした園を目指す様子を、ぜひご覧ください！



ナースの身体測定



2歳児広場



誕生日会

口コミで広がり、コロナ前の年間来場数は7,000人以上。保護者の声から企画されたイベントの数々も大盛況。目指すのは一人ひとりに“ちょうどいい”支援。

子育て支援センター



Instagram
更新中!!

当センターは園の一番奥、在園児が過ごす空間を通り過ぎた場所にあります。子どもの成長・子育ての見通しがもてる環境が大きな特長です。「もうちょっとしたら、ひとりでご飯食べてくれるんや〜」という声も。入園される家庭も多く、園選びにも一役担っています。

「子育て支援は親支援」「本当に居心地のいい場所ってどんな所?」「悩みや葛藤や苦しさを出せない、本当の支援じゃない」と話す梅崎副園長。細やかな観察、寄り添い、前向きな挑戦の姿勢こそ、地域に愛される大きな要因だと感じました。

保育を伝える『生活展』



動画で見る

「コロナ禍の制限の中で取り組んだ保育の内容を、是非保護者の方に見てほしい!」という職員の熱い願いから、今年の2月に初めて開催されました。

作品展でも造形展でもなく『生活展』。保護者に、遊びの跡を実際に見てもらいながら話せるので、普段の保育の様子や保育者の思いが伝わりやすいそう。距離が縮まる良い機会だったと好評で、今年度も開催予定だそうです!



取材レポート



異年齢で過ごすハッピーデー & フリーデー

新型コロナウイルスの警戒レベルが下がった今秋から、異年齢で過ごす時間が戻ってきました。乳児は子どもも保育者も一緒に思い切り楽しむハッピーデー、幼児は自分でコーナーを選んで気の合う友達と遊び込むフリーデーが、週に1日ずつ行なわれています。



▲絵本コーナー ▼机上コーナー



◀米粉粘土で型抜き中。

▼割れたアクリル板を再利用!

